

運転代行業界の 健全化へ講習会

宇都宮

全国運転代行協会県支部は17日、交通事故防止に関する講習会を宇都宮市駒生1丁目の県教育会館で開き、県内の運転代行事業者ら約70人が参加した。

利用者に安心して運転代行を利用してもらうため、業界健全化と交通事故防止を促すことが狙い。同協会の丹沢忠義(ただまさ)会長は、運転代行業界を取り巻く環境を説明した上で、「運転代行はお

客さまの大切な車と命を預かる仕事。お客さまに安心して利用していただくために業界を健全化させると同



運転代行事業者向けの交通事故防止講習会17日午後、宇都宮市駒生1丁目

時に、飲酒運転撲滅を目指して取り組んでほしい」と話した。

その後、県警交通企画課の担当者による県内の交通事故の発生状況に関する講話などを通じて、交通安全に関する理解を深めた。